



平成26年8月7日

南海電気鉄道株式会社
NPO法人ノーベル

「子連れおかの防災サバイバル手帳 普及プロジェクト」が
第8回キッズデザイン賞を受賞しました。
子ども視点の安全安心デザイン(一般部門)に選出

南海電鉄（社長：亘 信二）とNPO法人ノーベル（代表：高 亜希）が河内長野市で展開する「子連れおかの防災サバイバル手帳 普及プロジェクト」が、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する「第8回キッズデザイン賞」を受賞しました。

キッズデザイン賞とは、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもを産み育てやすいデザインを顕彰する制度です。今回両者が受賞したのは、子どもを含めた一般向けの製品、施設、サービスにおいて、子どもが接触する可能性があるもので、安全に配慮されたものが対象となる「子ども視点の安全安心デザイン 一般部門」です。

両者は、河内長野市とも連携して、同市の子ども・子育て総合センターあいっくに集う震災未体験のママたちと、もしもの時に子どもを守るために何をすればいいかを考えるワークショップを実施しています。その中で疑問に思ったことや解決策について、子育て中のママの視点からまとめたハンドブックが「子連れおかの防災サバイバル手帳」です。

今後も両者は、河内長野市以外の自治体や団体に対し、子育て中の親子が、もしもの時も安心して落ち着いた行動ができるよう、本ハンドブックの普及プロジェクトを共同で展開していきます。

詳細は、別紙のとおりです。

1. 「子連れおかの防災サバイバル手帳 普及プロジェクト」について

本プロジェクトは、南海電鉄とNPO法人ノーベルが、子育て中のママたちの防災知識や意識向上を目指して実施しているものです。いざ自分のまちで大きな地震が起きても、小さい子どもを抱えながら避難できるように、①日頃から問題意識をもって、②事前に準備をし、③子どもと家族を守ることに活用できるハンドブック「子連れおかの防災サバイバル手帳」の普及活動を推進しています。本ハンドブックは、実際に震災が起きたときに対応すべき順番、必要な情報を掲載し、これらすべてを1分1秒単位で判断・実践を意識できるような構成にし、母子手帳にはさんで何度も読み返すのに最適な情報量となっています。

2. 第8回キッズデザイン賞

主 催	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
プロジェクト名	子連れおかの防災サバイバル手帳 普及プロジェクト
応募部門	子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン 子ども視点の安全安心デザイン（一般部門）
公式サイト	http://www.kidsdesignaward.jp/2014/



3. キッズデザイン賞とは

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもを産み育てやすいデザインの顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けでありながら子ども目線を持った、良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動なども対象としており、受賞作品には「キッズデザインマーク」を使用することができます。

4. ハンドブックについて

名 称	子連れおかの防災サバイバル手帳
発 行 者	河内長野市
制作・著作	南海電気鉄道株式会社
協 力	NPO法人ノーベル、 子ども・子育て総合センターあいつくに集うママたち
監 修	紅谷 昇平氏（神戸大学 特命准教授・河内長野市市政アドバイザー）
発行部数	3,000部
サイ ズ	143ミリ×100ミリ カラー 16ページ
特 色	母子手帳にはさめるサイズの「子連れママ参加型の防災ハンドブック」となっており、震災未体験のママたちのリアルな疑問を掲載し、読者にも気づきと共感とリアリティを与えられるような構成・内容となっています。ハンドブックの中では、未体験ママとしてクマのキャラクターと、そのママの疑問に答えていく先生となる九官鳥が登場。このクマと九官鳥のやりとりは、実際に河内長野市に在住する震災未体験のママたちとワークショップを実施し、そこから生まれた知恵を専門家のアドバイスを得てまとめられています。



表紙



中面（一部）

【参 考】河内長野市での取組みについて

詳しくは、本日（平成26年8月7日）に、河内長野市、南海電気鉄道株式会社、NPO法人ノーベルからの発表資料「河内長野市の子ども・子育て総合センターあいくに集うママたちと協力し、ハンドブック『子連れおかんの防災サバイバル手帳』を制作いたしました」をご参照ください。

以上